

科目名

中級日本語2-1(会話)

講義名

中級日本語2-1(会話)

クラス

担当教員

永島 恭子(非)

実務経験のある教員による講義

学年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

後期

開講時期

(後期)

曜日・時限

月 1

科目種別

通常講義

科目区分

要卒外

単位区分

要卒外

単位数

準備事項

備考

特修プログラム

授業方法

講義、グループワーク、発表、ICT機器の活用

講義情報

授業概要とねらい

- ・対話型教室活動、スピーチ、プレゼンテーションの練習などを通して、話す力を高める。
- ・授業および評価においては具体的な場面においてそれが実際に使用できるようになったかどうかを重視する。
- ・ To develop speaking skills of Japanese language by various conversational activities in class, speech and presentation.
- ・ In class and on evaluation, usage of language is more important than the knowledge.

単位認定基準

- ・ 仕事、学校、余暇などでよくある馴染みの事柄について、はっきりと標準的な話し方で話されたことの要点を理解できる。
- ・ その言語が話されている地域であれば、滞在中に起こりうる大抵の状況に対処できる。例えば、家庭、趣味、旅行、時事問題などで馴染み深く個人的にも関心があり、日常生活に関連したトピックであれば、準備がなくても会話に入っていける。
- ・ 意見や計画の理由や説明を、簡単ではあるが表現することができる。
- ・ 物語を伝えたり、本や映画のあらすじを伝え、自分の感想を表現できる。
- ・ can understand the main points of clear standard speech on familiar matters regularly encountered in work, school, leisure, etc.
- ・ can understand the main point of topics of personal or professional interest when the delivery is relatively slow and clear.
- ・ can briefly give reasons and explanations for opinions and plans.
- ・ can narrate a story or relate the plot of a book or film and describe their reactions.

授業計画

- 1) オリエンテーション、自己紹介で好印象を与えよう①ことばと表現
- 2) 自己紹介で好印象を与えよう②グループ活動
- 3) きっかけを語ろう①ことばと表現
- 4) きっかけを語ろう②グループ活動

- 5) なくした体験を話そう①ことばと表現
- 6) なくした体験を話そう②グループ活動
- 7) スポーツのおもしろさを伝えよう①ことばと表現
- 8) スポーツのおもしろさを伝えよう②グループ活動
- 9) 言いかえて説明しよう①ことばと表現
- 10) 言いかえて説明しよう②グループ活動
- 11) 比べて良さを伝えよう①ことばと表現
- 12) 比べて良さを伝えよう②グループ活動
- 13) ストーリーを話そう①ことばと表現
- 14) ストーリーを話そう②グループ活動
- 15) 全体のまとめ

* 以上は予定であり変わる可能性がある。

- 1) Orientation、Unit1①vocabulary and grammar
- 2) textbook, Unit1②group work activity
- 3) textbook, Unit2①vocabulary and grammar
- 4) textbook, Unit2②group work activity
- 5) textbook, Unit3①vocabulary and grammar
- 6) textbook, Unit3②group work activity
- 7) textbook, Unit6①vocabulary and grammar
- 8) textbook, Unit6②group work activity
- 9) textbook, Unit7①vocabulary and grammar
- 10) textbook, Unit7②group work activity
- 11) textbook, Unit8①vocabulary and grammar
- 12) textbook, Unit8②group work activity
- 13) textbook, Unit9①vocabulary and grammar
- 14) textbook, Unit9②group work activity
- 15) Final exam

* these schedules are still tentative

授業計画（週形式）

教材・教科書

『日本語上級話者への道きちんと伝える技術と表現』（スリーエーネットワーク）

"Nihongo Jokyū Washa e no Michi: Kichinto Tsutaeru Gijutsu to Hyōgen (The Way to Become an Advanced Speaker of Japanese: Techniques and Expressions for Effective Communication)" 3A Network

参考図書

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・宿題、予習、復習をしてくること。
- ・単位制に基づき、少なくとも15時間の授業外学修時間を必要とする。

Students need to spend at least 15 hours for homework, preparation and review before and after each classes.

成績評価の方法

授業への参加態度（10%）、提出課題と平常のプレゼンテーション（40%）、期末の平常試験（50%）で評価する。出席率70%以上でないと期末試験は受けられない。

Attendance and participation (10%), Presentations and Weekly assignments (40%), Final exam (50%)
Students cannot take the final test in case the attendance rate is lower than 70%.

成績評価の基準

- S：全ての項目において非常に優れている。
- A：全ての項目において優れている。
- B：全ての項目において「望ましい水準」に達している。
- C：一部の項目において「望ましい水準」に達していない。
- F：半分以上の項目において「望ましい水準」に達していない。

- S：Very excellent in every points.
- A：Very good in every points.
- B：Good in every points.
- C：Not good in some points.
- F：Not good in most of points

オフィスアワー

授業開始時に連絡する

It will be announced at the beginning of the course.

授業改善・工夫

グループウェアを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

The class is managed effectively by using groupwear system. The system is also expected to lead students to autonomous learning .

留意点・注意事項

J-CATでの基準点の到達を受講の目安とする。

Students needs to pass the criterion score on the J-CAT test.